

地元産米を学校へ

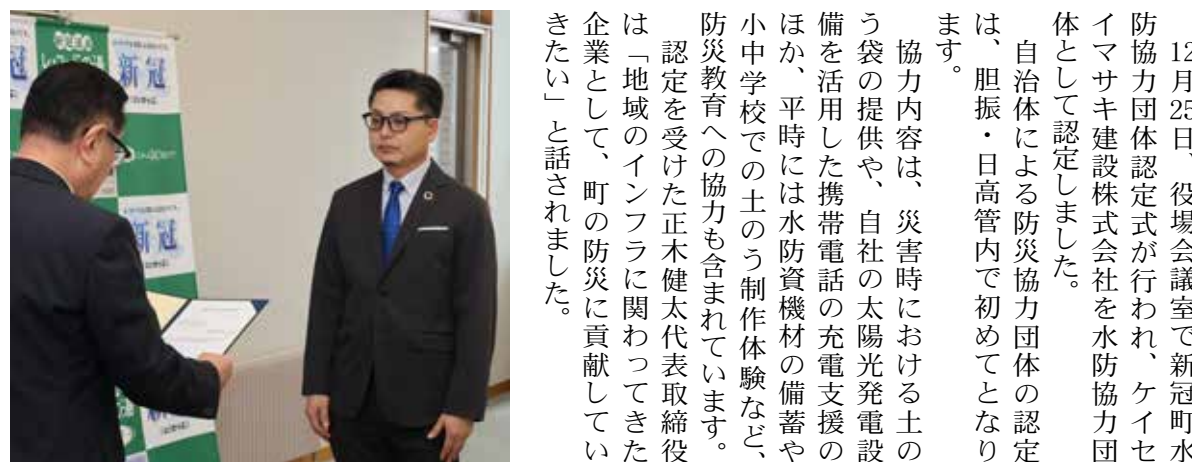
稲作振興会が新米80キロ寄贈



12月15日、新冠町稲作振興会は、新冠小学校と新冠中学校に新冠産の新米「判官伝説（ゆめぴりか）」を寄贈しました。
寄贈された新米は2校合わせて80キロで、地元産のお米を味わってもらおうと、同会が毎年続けている地域貢献活動の一環です。
新米は学校給食に使用され、児童生徒が新米の美味しさを楽しみました。

水防協力団体を認定

町と企業が防災で連携



12月25日、役場会議室で新冠町水防協力団体認定式が行われ、ケイセイマサキ建設株式会社を水防協力団体として認定しました。
自治体による防災協力団体の認定は、胆振・日高管内で初めてとなります。
協力内容は、災害時における土のう袋の提供や、自社の太陽光発電設備を活用した携帯電話の充電支援のほか、平時には水防資機材の備蓄や小中学校での土のう制作体験など、防災教育への協力も含まれています。
認定を受けた正木健太代表取締役は「地域のインフラに関わってきた企業として、町の防災に貢献していきたい」と話されました。

大きな音にびっくり

園児がポン菓子づくりを見学



12月19日、認定こども園ド・レ・ミの園児が、東町生活館でお米のポン菓子づくりを見学しました。
この見学会は、東町自治会の呼びかけで行われており、同様の形式での開催は今年で3年目となります。
園児は、ポン菓子ができあがる際の大きな音に驚きながらも、試食では「おいしい」と笑顔を見せていました。

年末恒例の寄せ植え教室

多くの参加者でにぎわう



12月18日、レ・コード館で町女性コミュニケーション会議主催「寄せ植え教室」が開催されました。年末恒例の人気事業で、昼の部と夜の部を合わせて39名が参加しました。
講師は、生涯学習人材バンク登録者で、ウス新冠生花店の但野裕之代表が務め、参加者は寄せ植えのコツや豆知識を聞きながら、楽しそうに制作に取り組みしていました。

日高信用金庫が認定こども園におもちゃを寄贈



12月23日、日高信用金庫（新保雄司理事長）から、認定こども園ド・レ・ミに5万円相当のおもちゃが寄贈されました。
扇谷芳憲静内支店長が「元気ですくすくと成長することを願っています」と話しながら園児代表に寄贈おもちゃを手渡すと、園児たちは声をそろえて「ありがとうございます」と元気にお礼をしていました。

令和8年 新冠町二十歳を祝う式典

1月11日、レ・コード館民ホールで「令和8年新冠町二十歳を祝う式典」が行われ、華やかな着物やスーツに身を包んだ38名が、二十歳の門出を迎えました。

式典では町長式辞、議長祝辞に続き、参加者代表の米田孝太さんが町民憲章を朗唱し、杉山結美さんが成人の誓いを述べました。

その後の成人の集いでは、参加者がビンゴゲームを楽しみながら、久しぶりに再会した友人たちと語り合い、和やかな時間を過ごしました。

